

設立趣旨（平成2年1月23日）

国土の均衡ある発展を目指す多極分散型の国土形成を図るためには、21世紀に向けて、国土幹線軸の整備が重要な課題となっておりますが、とりわけ、政治、経済、文化などの中枢である首都圏と近畿圏を結ぶ東海道新幹線は、開業以来四半世紀が経過し、輸送力がほぼ飽和状態に近づき、構造物の老朽化も進んでおり、その機能強化を含む新たな高速交通軸の整備が急務となっております。

一方、京都府域においては、国際化の進展の中で、日本の文化首都である京都の果たすべき役割の増大を展望し、国際文化観光都市「京都」のもつ、文化、学術、伝統産業、先端産業、国際観光、コンベンションなどの諸機能の一層の拡充を図る各種の施策や、我が国の新たな文化、学術研究、科学技術発展の拠点となるべき関西文化学術研究都市の建設が着実に進展しており、高速交通機関の整備が大きく期待されております。

この様な社会的要請に基づき、国においては、超電導磁気浮上式鉄道（リニアモーターカー）の技術開発が進められ、いよいよ、平成2年度から山梨県において新実験線の建設が本格着工の見通しとなり、平成9年度末には、実用化の目途をつける計画となっております。

この様なリニアモーターカーによる新たな国土軸の出現は、我が国の交通体系のみならず、政治、経済、社会、文化、国民生活等のあらゆる分野に大きな影響を与えることは必至であり、京都にとりまして、日本及び世界において期待される役割を果たし、また将来に向かって飛躍して行くためにも、必要不可欠な高速交通軸となることは間違いないところであります。

このため、首都圏、中部圏、近畿圏を結び更に中国地方に連絡する新たな国土軸として構想されているリニアモーターカーによる「中央リニアエクスプレス」が「京都」を通るルートで実現されるよう、地元が一致協力して強力な推進運動を展開する必要があると考え、ここに行政、議会、経済界等からなる新たな推進組織を設立するものであります。